

対人援助のプロセス (派生的価値)

根源的価値 (存在の尊重 → 主体性の喚起 → 支え合いの促進)
中核的価値 本人主体 (取り組みの中心を本人に置く)

参考文献 岩間伸之「支援困
難事例と向き合う」



(内容)

本人の立場に立って生活の中で何がしんどいのかを明らかにする

本人の立場から問題行動の意味あいを理解する

本人の存在を認める

援助者との信頼関係をベースにして、わだかまりが少なくなり、自身の問題が整理される

生活が安定する。自信を持って意思決定できるようになり、主体的に生活を組み立てることが可能になる

本人を支える関係の輪が広がり、より広い世界と繋がりながら、充実した地域生活を送れるようになる

条件を付けて想像する